

「山梨県様からのお声出し内容」

山梨県庁で開かれた人口減少対策戦略本部の初会合で長崎知事は「合計特殊出生率は2年連続で下降し、中長期的な目標としている希望出生率 1.87 を大きくかい離する 1.40 で危機的な状況だ」と述べました。

長崎知事は「改めて必要な施策を考えて率先して対策を打ち出して頂きたい」と述べ、知事政策局の次長をトップにしたプロジェクトチームを立ち上げて一連の政策を取りまとめるよう指示を出しました。

そして県だけでは対策は実現できないとしてすべての市町村や経済界や大学などと連携して少子化対策に力を入れていく考えを示しました。

「お声出しの内容を含めていくつかの現状の問題点の解説」

1. ある地方の特有（固有）の問題点は存在しません。（例外がないわけではない程度）全国共通（あるいは世界共通）で考えていくべきです。
2. （進め方の問題）ひとつ一つ丁寧に解決していくは、間違いです。複雑化した（あるいは成熟した社会）では、「全方位同時改革」が必要です。
3. （進め方の問題）自治体の課題に対して、企業側が何かを提案するような、マッチング方式は間違いです。なぜなら、住民や使う人の意見の反映が十分でなく、企業の作りやすさや行政の取組みしやすさが優先されるから。
4. （施策の問題）将来シナリオなしでの発注先行（#1）をやめるべきです。例えば、マイナンバーカードは種々の発注が先行し、情報漏洩問題（#2）や打ち込み時のケアレスミスの問題が未解決のままです。
5. （施策の問題）国際競争力のないスタートUP 経営支援は間違っています。なぜなら、なんとか市場を守ってきた既存企業の売上げが減り、縮小や倒産をする場合が多く、例えば太陽光発電の日本市場は中国企業に奪われ、同様に風力発電の市場は欧州勢に奪われています。

今後は、国際競争力のある（重要な基本特許のある）ものに特化して、全面的に国策として支援をする必要があります。

「木造人工島の波力発電」を国策として進めれば、世界のカーボンニュートラルに貢献し、日本の GDP を大幅に引き上げ、平均的にリッチな人が増え、恋愛—結婚—子育てを楽しむ人の割合が増えてくると予測しています。

<発注先行（#1）>

元デジタル庁大臣の発言で「NEC は完全に干す。」というものがりましたが、裏読みすれば、それまでは恒常的に発注の便宜が図られてきた経緯があったことが推定され、それは企業の技術開発力の低下をきたすようです。（30年前の NEC の通信技術は世界一でしたが、いまは・・・）

<情報漏洩問題（#2）>

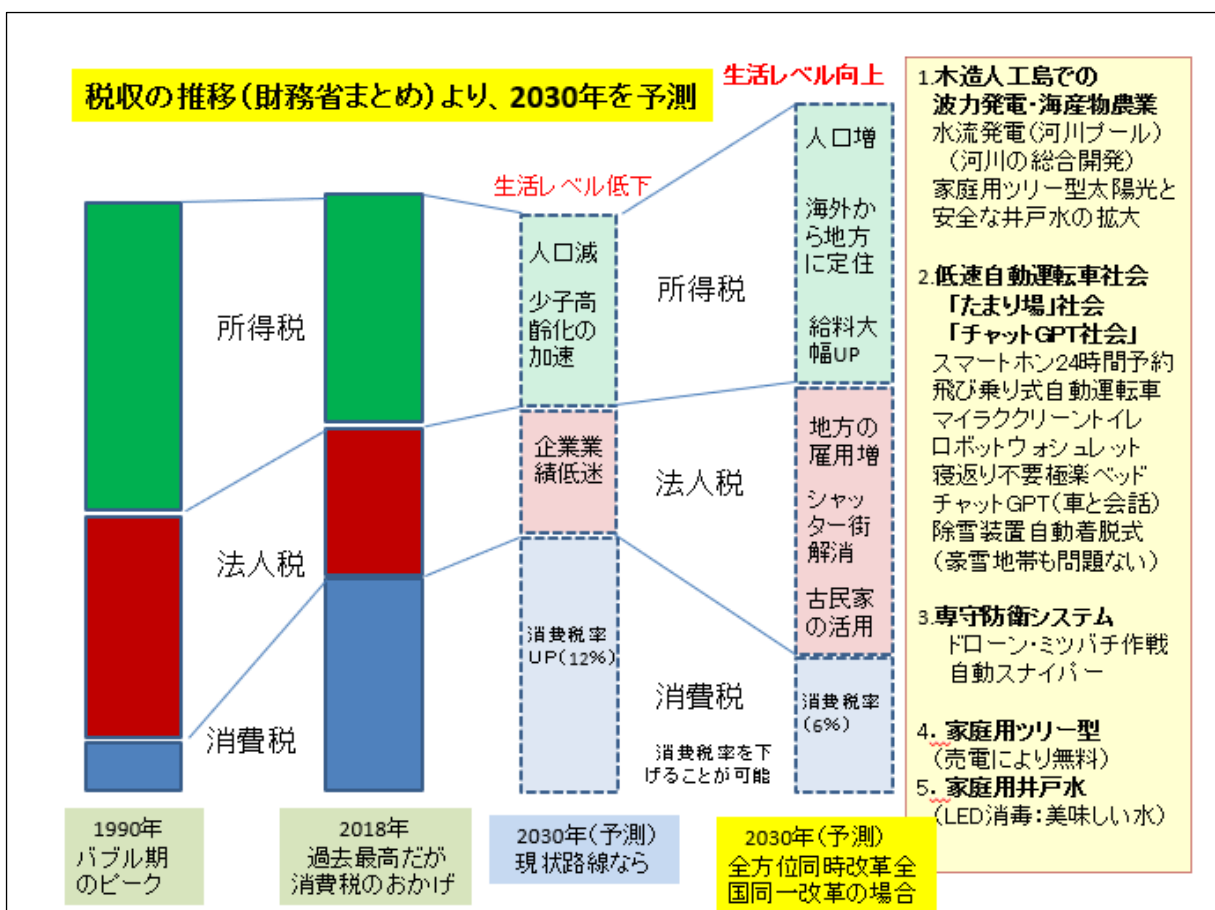
中口のスパイ等から、データの打ち込みスタッフが買収や恐喝をされると、簡単に情報漏洩し、基本的に考え方が間違っています、電子窓口でのスタッフと本人（あるいは本人の代理人）とのコラボで電子書類を作成し、またスタッフ単独では、電子書類を見ることのできないようにする必要があります。（具体的な技術内容は別途用意しています。）

「少子化の要因」

少子化の要因は、子育ての諸手当が不十分だからではありません、基本的に若者の貧困（給料が安い）と将来不安（高齢者が幸せそうでない）が根本原因です。

給料が安い要因は、基盤産業・ハイテク産業等で、国際シェアを奪えなくなり、多くの企業が給料を押しさえ、守りに入っているからです。

国際シェアを奪えなくなった要因は、根回し等が効率的に働いていた同調社会が最近では足かせになり、良い商品を頑張って開発しても、あまり重宝されず、飲みケージョ的な感じで、出世をする人達が多く、ばかばかしくなってしまう（辞める人も多い）点と、結局（同調で）出世をしたイエスマンたちがトップになり、彼らに先見性がないがために、企業業績が伸びないことだと考えています。



<必要な施策の転換>

1. (5年後) 天下りがいる企業及び献金企業は受注できないとする法律を作る。
2. あらゆるセミナーに対し補助金を出さない。(セミナー受講で、取り組みをしているかのような気になり、実質の取組が進まない要因となっている。)
3. 国際競争力のない事業のスタート UP (経営) 支援はやめる。(国内市場破壊)
4. 官民連携マッチングシステム等をやめる。(メーカー都合&行政都合が優先)

有効な少子化対策とは、仕事や趣味を存分に行いながら、そして恋愛も楽しみながら、子育てができる環境の構築及び自動介護システムの構築であり、小さな子供から終末まで、楽しく遊び、楽に移動できるシステムの構築です。

→事故・故障前提のチャット GPT で人と車とが会話する「低速自動運転車社会」の構築へ

新ビジネス (garden-field.com)

PowerPoint プレゼンテーション (garden-field.com)

(スマートフォンで管理する) 低速自動運転車 (= LSC) & 母親アバター

9/10

LSC車内自動保育システム

少子化対応は、お金だけの問題ではなく、安心安全な子育て及び英才教育をしながら、残業や出張もして、そして恋や趣味も楽しめる環境の構築にある。

LSC車内自動介護システム


現行の交通システムからいきなりチェンジは難しいので、導入は半自動で行う。

リース型と賃貸し型がある。


LSCは一定時間ごとに、契約している授乳施設につれていき、その間、大画面TVには、AI=超天才お母さんアバターが登場し、一緒に遊んでくれる。

クラウドチャットGPT

双方向




母親アバター
(超博識)



母親が仕事でのLSC車内の様子


介護施設&保育施設の大幅縮小

遅くまで残業をした後に、LSCでは運転するわけではないので、低速の分、ゆっくりとスキンシップを楽しむことができる。



母親(多忙でも愛情たっぷり)

通勤の行き帰りのLSCの車内の様子



PCやスマートフォンで、赤ちゃんをいつでも見ることができる。

愛情たっぷりの母親と超博識母親アバターによって育てられた子供は人の痛みのわかる天才に育つ

プライベート型低速自動運転車に、母親と幼児とが一緒に乗り、ゆっくり（スキンシップを楽しむことができる）と最寄り駅か、会社の近くまで移動します。

母親が仕事で抜けたても、幼児は低速自動運転車に乗り続け、もよりの保育園か乳施設（おむつ交換もしてくれる）へ、アポを取ったうえで連れていく。（母親は仕事中にPCやスマホでその様子をいつでも確認できる。）

その間チャット GPT の AI アバターは、一緒に一緒に遊んでくれたり、しりとりをしたり、なぞなぞをしたり、歌を歌ったり・・・アバターは天才的な頭脳を有し、幼児の能力の進化に合わせ、その子の興味のある分野の知識を増やしたり、複数の言語を教えたり、天才に育ち、介護用途では、認知症の中レベルまでなら、能力の欠損した状況に合わせての、楽しい会話ができると考えています。